

Quarterly Report

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

広報・IR部 〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7
TEL: 03-6202-5270(代表)
www.ms-ad-hd.com

立ちどまらない保険。

MS&AD
INSURANCE GROUP

2012年7月20日

1. 2012年3月期 決算概況について

当社は、5月18日に平成24年3月期における決算発表を行いました。2011年度の正味収入保険料は、2兆5,588億円と前期比0.7%の増収となりました。要因として、国内における販売網改革が順調に進展し、主力の自動車保険や火災保険が増収したことや、アジアでの業務領域が拡大していることなどが挙げられます。一方、タイ洪水や台風などの自然災害による保険金の支払いが増加したことに加え、株式評価損の計上や法人税率引き下げの影響もあり、当期純利益は前期比1748億円の減益となりました。2012年度は、海外や生保事業など成長分野の積極的な事業展開や国内損保事業の収支改善などにより、大幅な利益改善を見込んでいます。

(単位：億円)

	平成23年3月	平成24年3月	比較増減	増減率
正味収入保険料	25,414	25,588	174	0.7%
経常利益	210	▲962	▲1,172	-
当期純利益	54	▲1,694	▲1,748	-

2. 2012年4～6月の三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の営業概況（単純合算）

*速報ベース、傷害・一般計には長期医療を含む

第1四半期は、主力の自動車保険を始め全種目で増収し、一般計で3.2%の増収となりました。

(金額単位：百万円)

種目名	第1四半期（4～6月）	
	収入保険料	増収率
自動車	322,729	3.5%
自賠責	77,092	4.9%
火災	100,544	2.5%
傷害	52,411	4.0%
新種	90,652	1.9%
海上	30,331	0.6%
一般計	673,757	3.2%

3. 主なニュースリリース（2012年4月～6月） ※カッコ内はニュースリリースの日付

(1) MS&ADホールディングス

○ ～被災地復興支援～ 宮城県南三陸町で田植えボランティアを実施（6月11日）

当社は、6月2日、3日の2日間にわたって、東日本大震災で津波被害を受けた宮城県本吉郡南三陸町の水田で田植えのボランティアを行いました。本活動は、昨年5月に開始した、被災した水田の再生に向けた取り組みの一環であり、年間を通じて田植えや稲刈りを行い、被災地の支援に長期的かつ安定的に関わっていくことを目指したものです。今後も、グループを挙げて被災地の復興支援を継続していきます。

○栃木県・茨城県竜巻災害に対する義援金について（6月14日）

当社では、5月に栃木県・茨城県で発生した竜巻被災者の支援を目的に、グループ各社の社員から義援金を募り、2,744名の社員から、約319万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、社員からの義援金額に対し同額を会社が拠出することで、総額約638万円の義援金を日本赤十字社などへ寄贈しました。

(2) グループ各社

①国内事業

○「苦情対応マネジメントシステムの国際規格『ISO10002』」

に関する適合宣言（4月2日）

三井住友海上あいおい生命は、4月1日付で、国際規格「ISO10002（品質マネジメント—顧客満足—組織における苦情対応のための指針）」に適合した苦情対応マネジメントシステムを構築し、適切な運用を行っていくことを宣言しました。同社では、今後も、苦情対応態勢の一層の強化を図るとともに、苦情を含むお客さまの声を業務改善に活かし、「お客さま満足度のさらなる向上」を目指します。

○TOYOTA 小型FRスポーツ86（ハチロク）への

車両保険料割引の適用について（4月5日）

あいおいニッセイ同和損保は、独自の衝突実験によって分析した車両性能を保険料に反映する車両保険「ドーン!とおまかせ」の適用車種に、トヨタ自動車株式会社の「小型FRスポーツ86（ハチロク）」を追加し、車両保険料の12%割引を適用します。同社では、今後も、「壊れにくく修理のしやすいクルマ」への商品提供を通じて、自動車社会全体におけるコスト削減や環境保全につながる取り組みを推進していきます。

○台風リスクの証券化を実行（4月16日）

三井住友海上は、再保険の調達手段の多様化・安定化と経営健全性の維持・向上を目的に、国内台風リスクに関わる証券化を実行しました。今回発行した台風リスク証券「AKIBARE II」は、2007年に発行された「AKIBARE」の後継となります。日本国内のリスクを対象とする証券としては初めて、気象庁等の観測データを元にした台風の推定損害をインデックスとして採用しており、再保険の補完・代替手段としての機能が向上しています。

○スマートフォンご利用者向け新サービス「スマ保」について（5月1日）

三井住友海上は、8月から、スマートフォンを利用した新サービス「スマ保」の提供を開始します。「スマ保」は、「保険をてのひらに。」をコンセプトとして、自動車保険の「契約管理」、「緊急時ナビゲート」、「『運転力』診断」、「安全運転チェッカー」の4つのサービスを提供する同社独自のアプリです。なお、スマートフォンの録画機能を活用したドライブレコーダー機能のサービスは、損害保険会社として初めての導入となります。今後も、「スマ保」のメニューを充実させ、さらなるお客さま向けサービスの拡充による利便性の向上に努めるとともに、事故防止活動を推進していきます。

○労働災害総合保険「コンサルティング費用補償特約」、

「総合リスク診断評価割引」の販売開始について（5月7日）

三井住友海上は、6月1日から、労働災害総合保険の新しい補償「コンサルティング費用補償特約」の販売を開始するとともに、新割引「総合リスク診断評価割引」を導入しました。「コンサルティング費用補償特約」は同社が新たに開発した補償で、労働災害が発生した場合の社会保険労務士への相談・書類作成費用や労働災害の再発防止のためのコンサルティング費用などを補償します。また、「総合リスク診断評価割引」では、お客さまから約20項目の質問への回答いただくことにより、最大で50%の割引を適用します。

○自動車保険の改定について～ノンフリート等級別料率制度の改定など～（5月18日）

三井住友海上は、10月1日始期契約から、自動車保険のノンフリート等級別料率制度を改定します。本改定は、参考純率に沿った、お客さまの保険料負担の公平性を高めるためのものです。また、今回の改定により、お客さまの事故防止への関心が高まると考えられるため、スマートフォンの活用や各種ツールの拡充などにより、お客さまへの安全運転・事故防止サポートをこれまで以上に積極的に行ってまいります。

○三井住友カード会員向け「ポケット保険」の提供を開始

～ネット上で、いつでも気軽に申し込める新少額保険～（6月18日）

三井住友海上は、6月21日から、三井住友カード株式会社と提携し、三井住友カードの会員向けに、保険の申し込みや変更などのすべての手続きがインターネット上で完結する少額保険「ポケット保険」の提供を開始しました。「ポケット保険」は、月額40円からご加入いただけるうえ、お客さまのニーズに合わせて、けがなどのさまざまな補償を自由に組み合わせることができます。

○メガソーラー総合補償プランの販売開始について（6月20日）

三井住友海上は、6月20日から、大規模な太陽光発電所を運営するメガソーラー事業者が抱えるリスクについて、保険とデリバティブを組み合わせ、合理的に補償する「メガソーラー総合補償プラン」の販売を開始しました。本プランは、メガソーラー事業者を取り巻くリスクを総合的に分析し、お客さまが必要な補償を合理的に手配できるよう、火災保険（財物・利益）、賠償責任保険、日照補償デリバティブをパッケージ化したものです。円滑な事業運営を妨げる可能性のある主要なリスクを補償しており、安全で安定的なメガソーラー事業の運営に寄与します。

○タブレット端末向け提案アプリ「TOUGH PORTAL」を本格展開（6月25日）

あいおいニッセイ同和損保は、お客さまのリスク状況のチェックや、それぞれのリスクに応じた保険提案・アドバイス等を行える代理店向けのタブレット端末用アプリケーション「TOUGH PORTAL（タフ・ポータル）」の本格展開を開始しました。タブレット端末の特長を最大限活かしたアプリケーションの活用により、「代理店を通じたリスクコンサルティングや保険提案・アドバイス活動」を、よりわかりやすく、臨場感あるものに高めていくことで、お客さま満足度のさらなる向上を図ります。

○健康で快適な生活のための、無料電話相談サービスの開始（6月29日）

三井住友海上プライマリー生命は、7月2日から、保険契約者と被保険者を対象に、無料電話相談「しあわせ未来サービス」を開始しました。「しあわせ未来サービス」は、健康や生活に関するさまざまなご相談に、各分野の資格者・専門スタッフが対応するサービスです。

②海外事業

○独立行政法人 日本貿易保険と業務提携（4月6日）

三井住友海上の香港現地法人MSIG香港社は、3月に、独立行政法人 日本貿易保険「NEXT」と、貿易保険の引受に関する業務提携契約を締結しました。本提携によって、香港での日系企業の輸出業務にともなう政治的危険や天災などの非常リスク等を引き受けできるようになり、海外で活躍する企業の貿易保険ニーズに応えることが可能となりました。

○“最も保険金請求対応が優れている保険会社

Best Claims Settlement Award”を2年連続受賞（5月14日）

三井住友海上のインド現地法人であるチョラマンダラムMSジェネラル保険会社（チョラMS社）は、貧困世帯を対象とした州政府医療保険「RSBY」の保険金支払対応が最も優れている保険会社に贈られる「Best Claims Settlement Award 2011」を、2年連続で受賞しました。今回の受賞は、チョラMS社におけるRSBYの迅速で丁寧な保険金支払いが高く評価されたもので、同賞の2年連続受賞はインド保険業界において初めてとなります。

○インドの大手生命保険会社と資本提携（6月28日）

三井住友海上は、4月に、インドの有力企業グループであるマックス・インディア・グループ傘下の生命保険会社「マックス・ニューヨーク生命社」の発行済株式の26%を取得することに合意し、インド保険監督当局による認可取得等の手続きを経て、6月に出資手が完了しました。今回の出資に伴い、新会社名は「マックス生命」となります。今後も積極的に経営に参画し、インドに進出する多国籍企業の生命保険・年金保険ニーズの取り込みを図っていきます。

③リスク関連事業

○「運輸安全マネジメント普及・啓発促進協議会」への参画について（5月15日）

インターリスク総研は、国土交通省が推進する「運輸安全マネジメント制度（※）」について、同制度のさらなる普及・啓発の推進を図るため「運輸安全マネジメント普及・啓発推進協議会」に参画しました。本協議会への参画を通じ、東京・大阪において中小運送事業者向けに、協議会主催の教育プログラム「運輸安全マネジメント・トライアルセミナー」を開催するなど、協議会メンバーとして運輸安全マネジメント制度の普及推進に努めていきます。

（※）「運輸安全マネジメント制度」

運送事業者の安全管理体制の構築・改善状況に関する評価制度。同社は、本制度の民間の第三者機関として国土交通省から認定を受けています。

○国土交通省・事故防止対策支援事業の補助金対象となるコンサルティングの

提供を開始（6月2日）

インターリスク総研は、これまでの運輸安全マネジメントに関する知見・事故分析支援の実績を活用し、国土交通省の「自動車運送事業者向け事故防止対策支援推進事業（社内安全教育の実施に対する支援）」の補助対象となるコンサルティングメニューの認定を受けました。同社は、バスやタクシー、トラックといった自動車運送事業者の交通事故防止に向けた自主的な取り組みを支援するためのコンサルティングメニューを、積極的に提供していきます。

④環境・社会貢献活動・スポーツ

○「ベルリンフィル12人のチェリストたち」への特別協賛について（4月6日）

三井住友海上プライマリー生命は、東京・サントリーホールで7月1日に行われた「ベルリンフィル12人のチェリストたち」に特別協賛しました。「ベルリンフィル12人のチェリストたち」は、世界最高峰のオーケストラ、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のチェロ・セクションのメンバーから構成される、ユニークかつ贅沢な室内楽グループです。今回の公演は、同グループの結成40周年、同社の開業10周年の記念公演として開催されました。

○早稲田大学商学部に寄附講座を開講（4月11日）

あいおいニッセイ同和損保とMS&AD基礎研究所は、4月12日から、早稲田大学商学部で、「新時代の保険事業ーグローバルスタンダードと少子高齢社会を迎えて」をテーマに、寄附講座を開講しました。本講座は2007年から開講し、今回で6年目となります。急速なグローバル化・高齢化の進展への対応や、お客様本位の事業展開等、保険事業の大きな変革期に関する講義をメインとして、これからの保険事業のあり方や方向性について考えていく内容となっています。

○2012年度「地域住民のためのコンサート」開催地および

「文化の国際交流活動に対する助成」助成先団体を決定（4月27日）

三井住友海上文化財団は、2012年度の「地域住民のためのコンサート」を共催する32の市町村と、「文化の国際交流活動に対する助成先」の10のアマチュア団体を決定しました。同財団による「地域住民のためのコンサート」は今回決定した32公演を含めて累計651回にのぼります。地域の皆さまへのコンサートの提供を通じて、地域における文化の振興および国際交流促進を図り、広く文化の向上・発展に貢献することを目指しています。

○都内トップクラス的环境性能ビル、三井住友海上駿河台新館が完成（5月2日）

三井住友海上は、2013年に予定している本社ビル統合事業の一環として、5月1日から、新たに完成した駿河台新館の使用を開始しました。駿河台新館は、最新の省エネ技術を採用した都内トップクラス的环境性能ビルであり、一般オフィスビルのエネルギー消費量と比較して、37.6%のエネルギー削減が可能です。また、災害時における事業継続性の確保のため、高い耐震性と停電・断水等に備える各種設備・システムを有していることから、周辺住民や帰宅困難者の一時避難場所としても活用できます。

○2011年度の社会貢献活動結果について

～世界の子どもにワクチンを贈る活動へ寄付～（5月28日）

三井住友海上あいおい生命は、社会貢献活動の一環として、認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)」へ、ポリオワクチン6万9千人相当分の寄付を行いました。2011年度はこのほかにも、障害者スポーツの普及・強化活動や、最先端の医療をお伝えする活動など、「社会貢献活動やスポーツ支援、環境保護活動を通じて、豊かな社会づくりに貢献し、社会やお客さまから信頼される企業でありたい」との理念のもと、さまざまな活動を行いました。

○2011年度の収集ベルマークを東日本大震災の被災地域小中学校に寄贈（6月5日）

あいおいニッセイ同和損保は、損害保険会社で唯一のベルマーク運動への協賛企業として、2011年度に収集したベルマークを、東日本大震災の被災地域の小中学校に寄贈しました。今後もより一層ベルマーク運動の輪を広げ、継続的な被災地の復興支援に取り組んでいきます。

○国連環境計画・金融イニシアティブ「持続可能な保険原則」への署名について（6月20日）

三井住友海上は、国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)における「持続可能な保険原則(PSI: The Principles for Sustainable Insurance)」の趣旨に賛同し、本原則に署名しました。「持続可能な保険原則」とは、保険会社の事業活動において、環境・社会・ガバナンス問題への配慮を促し、社会の持続可能な発展に貢献することを求めるもので、2012年6月に公表されました。

○交通安全啓発活動に対する「感謝状」授与について（6月25日）

三井ダイレクト損保は、6月15日に開催された警視庁東京湾岸警察署主催の「平成24年春の交通功労者等表彰式」において、東京湾岸警察署長より「感謝状」を授与されました。これは、「事故のないクルマ社会を目指す」活動『MUJICOLOGY! (ムジコロジー) プロジェクト』の一環として、「春の全国交通安全運動」期間中、東京湾岸警察署主催の交通安全イベントや「交通安全。アクション2012」などに積極的に参画したことが評価されたものです。

○女子柔道部

～上野順恵選手、中村美里選手のロンドンオリンピック出場が決定～（5月14日）

5月12日～13日に福岡県・福岡国際センターで開催された「平成24年度 全日本選抜柔道体重別選手権大会」に三井住友海上女子柔道部から7名の選手が出場し、上野順恵選手(63kg級)、中村美里選手(52kg級)が優勝しました。また、大会後の全日本強化委員会にてロンドンオリンピック代表選手選考が行われ、同2名の選手がロンドンオリンピック日本代表に選出されました。

⑤その他

○新テレビCM「&LIFE アテレコ篇」オンエア開始（6月28日）

三井住友海上あいおい生命は、新テレビCM「&LIFE アテレコ篇」を7月1日から、全国で放映しています。今回の新テレビCMは、女優の桐谷美玲さんと人気アニメキャラクター「あらいぐまラスカル」を起用し、2011年10月から展開している商品ブランド「&LIFE」、およびそのメイン商品の1つである「総合収入保障保険」を紹介する内容となっています。